



VIVA!

'75 KOBE MATURI

★私の神戸まつり

'75花と海と太陽の祭典



いきいき。 神戸まつりダ

「まつりを『ええな』と思つて肯定してゐる人が多い」と否定的な答えをしてゐる人の比率が最も多く、各区のまつりには関心がないけれども、中央バーレードには関心をもつてゐるようなりで、まち市民はこのまつりに目を向けてゐる

に肯定的だと見ていよいよですね。だからみんながちょっとといっぱいひっかけてこのまつりに参加してもらうようにするためにはどうしたらいいか、そのムードの盛り上げ方ですね(笑)。それは金かけるいうのとは違った問題ですよ。

今、長島局長からお話をありましたか、パレードには64パーセントの人が関心があるのに各区の行事に関心ある人は20パーセントしかいない、いいうのはやっぱり問題やと思いますね。そんなに各区のまつりに関心がないんやつたら中央のパレードに何もかも集中してもつとワーッとやつたらどうですかね。ニースはパレード一本なんですよ。道路を完全に封鎖して、入場者からはお金とつて



☆座谈会 出席者

長島 降 〈神戸市市民局長〉

妹尾美智子 〈神戸市婦人団体協議会事務局長〉

福田 義文 〈生田神社官司〉

永田良一郎〈永田良介商店社長〉

★まつりはアホウにならんと気分が出ないヨ
長島　昨年の神戸まつりに私生まれて初めて神戸っ子の
サンバチームにまじって参加したんですが、まつりいう
のはやっぱり自分が参加して一役にならういうのは楽しい
な、いう気がしましたね。そばで見るとよりも自分がや
る方が何とあっても楽しい（笑）。

るんです。そして見てる人とパレードをやつてる人との間にはたえずやりとりや交歓があるんですね。神戸まつりの場合はパレードと見てる人とは完全に分かれてるんですけど、ニースではフロートから観客の中に入つて、紙ふぶきをぶつけたり、また観客がフロートに紙ふぶきを投げつけたりして混全一体なんですね。神戸まつりのパレードも警官が規制するだけではなく、もつとパレードと観客とが交歓できるような工夫をこらしていけばいいと思うんですがね。

福田 日本人ほどまつりの好きな民族もいませんね。日本のはまつりとヨーロッパのはまつりは全然形態が違つて、日本人ほど喜びにつけ、悲しみにつけ酒を飲んでまつりをする国民は珍しいですね。さつき長島さんが、まつりは自分が参加する方が楽しいとおっしゃいましたが、日本の芸能は見てもらうよりも自分がして楽しむことに意味があるんですよ。踊りでも「踊るアホウに見るアホウ」といいますが、まつりはアホウにならないと気分がないんですね。まつりの原点はやはり歓喜の表現で、神や自然の恵みに感謝する気持があつて、我々の日常生活が感謝に満ちていて、これからもエネルギーを貯えてがんばろうという気持の表現なんですよ。

妹尾 美智子さん

と盛り上げていく方がいいという気持を終始もつてゐるんです。この前サンテレビで神戸の若い人たちと話をしたんですが、彼らは「どうも今の神戸まつりを見てても自分たちはビンとこない。昔のみなとまつりの方がビンとくる」というんです。それで今度の民謡パレードの時に「みなど音頭」を入れて、観客に手拍子をうつてもらうようにマイクでよびかけ、沿道の人たちとの交流をはかるようなことも考へてゐるんですよ。

福田 私はまつりいうのはやっぱり集中せなアカンと思ひますけどね、分散すると弱くなるんです。祇園まつりでも神田まつりでもうちの生田のまつりでも38年になる

ワーッともりあがってほいですが……



長島 隆きん

「まつりは見どる
よりも自分が楽しむ
やる方が楽しいな」



んですが、生田の八万戸のひろい氏子のどこに集中するかというと元町なんです。元町だけみたらあとはエエといふぐあいにやつぱり集中することですね。人のいつぱいいるところで踊つてこそやはり楽しいんですよ。

永田 まつりのやり方自体に問題があると思いますね。区の方に顔を出しても民生委員のおじさん連中とか婦人会のおばさん連中が出てきて自分らのやりたいことだけとりあげてやつてる今の区のまつりはダメだと思うんです。

私たちの若い頃は町内で山車を出して少なくとも町内は全部まわつたんです。ハッピ着て太鼓たたいてやつてたけど、それは年中行事でどうしてもやらないかんこつちやと思うてやつとつた。山車についてまわつていっしょに踊つてお菓子もろたりした経験があるんです。昔のまつりには町内のそういう交流があつたんですが、今の区のまつりにはほとんどそれがないんですよ。だから区のまつりも以前の「みなとまつり」みたいにみながやつてくれるようになればいいんですけど、交通事情やいろんなことで昔のようなことが望めんいうことになるとどうかを一日なり二日なり開放して、そこへみなよつてこい、そこへくりやあ何しよが自由やという場所をつくつ方がええんやないでしょうか。

ニースは小さいところなんですが、プラザみたいなところに観客席をもうけその周りをぐるつとパレードが回るだけんですよ。そしてみんなどつかへ散つてしまふんです。そのかわりその場所にはものすう金かけるんですね。観客との交流も手拍子だけでなしに、いつしょになつて踊るようなことも考えられませんか。

福田 外国パレードとは同じようにいかないですね。でもまつりの演出は成功してるとボクは思いますよ。現場に行かなくても各家庭でみんなテレビでみてますしる時になるんです。

「アホウにならんとまつりはだけへん」

福田 義文さん

民放で半日もまつりを、中継するのは他にないそうですね。

妹尾 前夜祭あたりからあそこへ集中されてきてますか

長島 各区の行事が前夜祭でワーッとやつてそれの最高潮が集中すればいいんですけど、前夜祭の各区がさびしいね。

永田 プロデュースする人がいないと難しいですね。

兵庫は淡川公園でうまくやつてますね。

福田 あそこは中央みたいなもんで、成功してますよ。

まつりに参加してやつてる方と見る方との交流で

「もっと観客との交流を考えんと……」

永田良一郎さん



も、子供が喜んで見に行つたら沿道の家の人も子供にお菓子やつたりジユースやつたりする、そういう交流が今はなくなつてきましたね。ダンジリなんかが家の前に止まるときから「ご苦労さん！」いうてお菓子なんかもつてきて子供にやるというふうな演出がなんとかできんもんでしょうかね。

福田 多少金はかかるけどやりたいですね。ただ小さな地区だとできるでしようが、大きくなりすぎるとどうでしようか。

★まつりをしたらケンカがおさまる

長島 フラワーロードに集まつてくる人の四分の一ぐら

いは神戸市外から来られているようですね。

福田 それはまつりがおもしろいからですよ。ショウガ立派でないとわざわざ遠くから電車賃つかつてしませんよ。人が集まれば食堂から喫茶店から商店街もうるおいますしね。消費がともなつて金がもうからなんだらまつりもダメですよ。もうかるようになれば電鉄も商店もまつりに力を入れるようになりますよ。

妹尾 せつかくよそからお客様にまつりを見にきていただいても今の状態では混雑して見ていただく場所がないでしょ。ですから遠くから来られる人のために見る場所をつくつたら、という感じが毎年するんですけどね。

永田 スタンドのようなもんがいりますね。

妹尾 見てる方も大変疲れますから。

長島 須磨の離宮公園も大変だそうですね。何万人集まるのかしらなければ公園がパンクするいうて警察も心配しとるぐらいです。

福田 兵庫の湊川公園もすごいですね。

妹尾 須磨も兵庫も中心になつてやる人がいるからあれば人が集められるし、成功するんですね。やる人の少ない地域が問題なんですね。

長島 地区を盛り上げるには、昔は花電車とか花自動車がずつと全市まわつて雰囲気をつくり出していましたけど、今はそれがなくなつてるでしょ。

妹尾 市バスに装飾をして走らせるわけにいかないんですか。

長島 今年はそれも考へてるようですが、一台電気をつけて装飾すると何百万円もかかるそうですね。

福田 昔は花電車が来た、いうと子供がワーッと出でいきよつたね。それで雰囲気が出でてくる。

永田 ニースのカーニバルだとコンダクターのような黒いガウン着た絶対の権威者がおるんやね。そのオッサンが何かいうと絶対にその通りにせんならん（笑）。

長島 神戸まつりでもそれをやつたらどうやろう。最高の指導者、というかまつりのシンボルのような人を一人おいて、その人のいう通りにせんならんいうのは。

永田 たとえばパン屋のオッサンがその日だけは絶対の権力をもつてて、あくる日になつたらパン焼いとするいうのが平気で行なわれとるんやね。それは市民意識がそこまで発達しとるからやね。

妹尾 そうですね。でも日本ではまだそれをやつてもダメですよ。

永田 日本は規制がつよすぎますね。

妹尾 やつぱりケガ人が出ることを一番恐がるわけですね。

永田 誰の責任になるかということですね。まつりのケガぐら交通事故にくらべたらどうつてことないんやけど。

福田 昔はみこしやダンジリで一人や二人はかならずケガ人出てましたよ。ケガ人出るのを恐がつとつたらまつりききないです。

妹尾 芸術広場でも一部の人だけのものにするんじゃなくて、白い紙でも貼つておいて子供に好きなものを描かせるラクガキ広場をつくつたらどうでしようね。



テレビでおなじみの「ダンバの冒険」
で~す。パレードにぬいぐるみが登場。
チビッコたちの人気のまとになりそうです



「ミスター・ハッサン」3mの高さで自由に動いて言葉をしゃべります。初登場です

さまるいうのが日本のまつりの特色ですわ。まつりにケンカがつきもんいうのはそれでよ。だから日本いうのはそんなに拒絶反応いうんがなくてきてるんです。

★紙ふぶきでみんなの交流を

てるでしょ。

長島 ラクガキなんか大いにさして、もうちょっと子供が野放図になつてもいいよう思うけどなあ。

福田 それにいろんな苦情をひきうけるのがまつりですかね。

妹尾 苦情の吸収やね。

福田 そうそう。だからまつりしたらかならずケンカがおさまるんですよ。一回ワーッとやつたらそれで何もお

ね。 長島 まつりの当日だけでもパレードの沿道のビルの二階、三階あたりを有料で観客に開放してくれたらまたムード盛りあがるでしょうね。そして、その上から紙ふぶきを投げてもらうとか（笑）。

福田 紙ふぶきはたしかに雰囲気つくりにはいいですね。

永田 ニースでは紙ふぶきを売つてましたよ。行列に投げるおじやなくて観客同志で投げあうんです。真面目な顔してるおばあさんが知らん顔してチョコッと近くにいる人に投げるんですよ。まつりいうのはやっぱりふだんできんことがやれるいうのが必要だと思うんですね。

その投げあう紙ふぶきいうのは袋に入れて売つとんですが、だんだん後になるほど値下げするんです（笑）。最初三フランぐらいだったのが、まつりも最後の方になつてくると「一フランや！」 いうて売つてる（笑）。まつりが終つて帰る途中でもまだ投げ合いしとるから、あくる日になると全身紙ふぶきだらけで肌着の中まで入つとる（笑）。

妹尾 紙だつたら投げ合つても危くないしね。

長島 それはなかなかおもしろいね。華やかだし。

永田 感心したのは夜十一時すぎにまつりが終ると夜中に清掃車が出てその紙ふぶきを全部回収して、あくる日は全然紙ふぶきがなくなってるんですよ。

妹尾 まつりのあとはどうせ清掃はしないといけませんから、今年はこの紙ふぶきを一度考えてみてもいいですね。

長島 そうですね。ケガはしないし、一つの絵になりましからせひやつてみたいのですね。

経済ポケット ジャーナル

★神戸経済同友会

本年度通常総会開催

四月十一日、神戸銀行俱楽部（生田区京町）にて、神戸経済同友会昭和五十年度通常総会が開かれた。



講演をする糸川英夫さん

オーディオレコードティング）

システムは今非常に広い範

囲で普及しつつあるが、この春ソニーVTRシステム

の操作活用を直接ためしてみたい人のために三宮ビデ

オセンターが開設された。

テレビ裏番組の録画、録画テープの鑑賞、ビデオカメラ接続による自主番組の製作、簡易スタジオでのソフトテープの制作などを専門のコンサルタントによって指導してもらうことがで、VTRショールーム兼ビデオサロンとして気軽に利用できる。



オーディオレコードティング）

システムは今非常に広い範

囲で普及しつつあるが、この

春ソニーVTRシステム

の操作活用を直接ためしてみたい人のために三宮ビデオセンターが開設された。

神戸商工会議所は昨年十

月に東神戸、兵庫、西神戸の三支部を開設したが、さる四月一日には中央支部がオープンし、三宮支所を含めると、商工会議所の出先機関である支部、支所は市内に五ヵ所となり、会員へのサービス体制が一層充実された。

★神戸商工会議所中央支部

開設される

神戸市兵庫区入江通五丁目五番地

六八一-六七八一

神戸市兵庫区入江通五丁目五番地

六八一-六七八一

神戸市兵庫区入江通五丁目五番地

開設される

神戸商工会議所は昨年十

月に東神戸、兵庫、西神戸の三支部を開設したが、さる四月一日には中央支部がオープンし、三宮支所を含めると、商工会議所の出先機関である支部、支所は市内に五ヵ所となり、会員へのサービス体制が一層充実された。

中央支部は、ともすればすれも三月下旬より営業を開始した。南フランスのコートダジュールを思わせる華麗な建物のなかには、コートダッシュ、フィッシュ、ショーツ、マリンショーツなど、カラフルな店内はレジヤー用品が勢揃いし、楽しい店として親しまれています。

社長）として発足させ、いざ開始した。南フランスのコートダッシュ、フィッシュ、ショーツ、マリンショーツなど、カラフルな店内はレジヤー用品が勢揃いし、楽しい店として親しまれています。

中央支所は、ともすれば行きにくくと敬遠されがちな商工会議所へ、気軽に何事も相談に行けるようになるとから、神戸商工貿易センタービルの地階東部に



神戸商工会議所中央支所

★KOBEオフィスレディ★



広田由美子さん（長田区）

株式会社星電社広告宣伝部

ひょくさんで明るいお嬢さん。高校のときから商業美術を勉強し、今やっている仕事がPOP関係なので、満足そな様子。受持物のコーナーの装飾やらプライスカード作りなどをやって早6年。一番嬉しいのは自分で満足の行く仕事ができたとき。とえジコマンといわれても……。テニスにスキーも大好き。帰りしな、クーラーはどうですかといわれますが宣伝部と感心しました。（県立神戸商高卒）

開設

午後三時三十分から、昨年の選任などが行われ、五時三十分からは役員就任バーチカル（ビデオ）が、その後、糸川英夫氏（組織工学研究所長、工博）の講演があった。

★三宮ビデオセンター

兵庫トヨタ自動車㈱は関連事業の拡充発展を計るため、国鉄兵庫駅南側に株式会社「サンメイト」（滝川博社長）を設立するとともにマリン事業部を分離独立させ、新たに兵庫トヨタえて登場したVTR（ビデ

★兵庫駅南に株サンメイト誕生

神戸市兵庫区江戸町九五

（七八）三二一六三八五七六

六八一-一〇〇一

神戸市兵庫区浜辺通五丁目一-一四

神戸市兵庫区浜辺通五丁目一-一四

四

MAKE UP WITH ROYAL

50年の
伝統と信用
を誇る

度付サングラスお試えの絶好期
です



神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎(321)1212代表

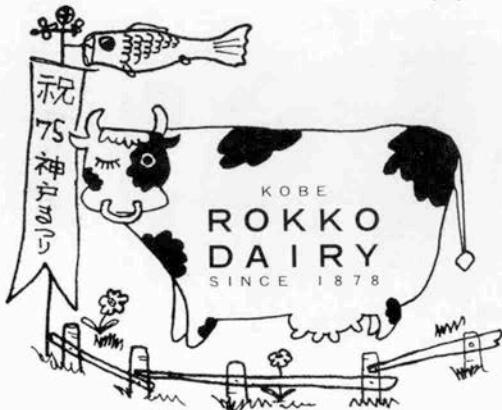
三宮店・さんちかタウン ☎(391)1874~5

元町店は毎水曜日がお休みです

三宮店は第2、第3水曜日がお休みです

フレッシュな味。

神戸生れの
六甲牧場



★ 喫茶店・洋菓子店に！
牛乳
生クリーム
ケーキ用クリーム
コーヒー用クリーム
各種アイスクリーム
ソフトミックス
ヨーグルト
プリン・ジュース
フレッシュ牛乳

株式会社
六甲牧場

神戸市灘区篠原南町6丁目1-25
〒657 電話神戸 (078) 801-6000(代表)

★ご用命しだい営業マンが気軽に伺います。



VIVA!

'75 KOBE MATURI

★私の神戸まつり



西澤 暉
(フリーアナウンサー)

で底ぬけで！

▲左はしが西澤アナ 頑張ってます

►オツチヨコチヨイの見本といおうか、何といおうか



「花と海と太陽の祭典 第五回神戸まつり 中央祭典の開幕です。」まつりの始球式ともいえる、この開幕をつげるアナウンスを担当している私は、毎年、本当にいきまつりです。

華やかな中央祭典のステージで真珠をちりばめた王冠をおくられて百万ドルの笑顔をみせるクイーン神戸のお嬢さん達にマイクをむけるのも役得というものでしう。人込みがあまりすきてない私でさえ、神戸まつりに酔へしれる人の群れは仔まつ／＼ものです。

よちよち歩きの頃から、「みんな祭」で踊り、花電車やミス神戸に目を輝やかしながら成長していく自分をふりかえるとき、神戸に生まれ育った幸せを感じるのです。

つい先日、宮崎市長とサンTVの「朝の訪問」で対談をしたさい、神戸つ子の市長は、「神戸つ子のいちばんよいところは?」といふ私の問い合わせに、「おつちよこちよいで底ぬけに明るいことだ」と答えられた。私もまつたく同意見。その答えは、私そのものだったからです。そんな神戸つ子が企画し、参加する「神戸まつり」が、これまでの「まつり」とくらべて、ひと味もふた味もちがうのは当然で、東京や大阪に住む友人が、口を同じくして、「東京や大阪では条件的なハンディもあるが、こんな見事な市民の團結力は望めない」と舌をまくほど、他の都市では真似のできない、神戸つ子が世界に誇りうるすばらしい「まつり」ですね。

しかし、「まつり」も五回目をむかえると、いろいろ考えさせられる点が出てくる。

「サンテレビでパレードを見ていたら、居ても立ってもおられんようになつたので三宮へ出て来て人をかきわけて見てたら、だんだんしんどなつたので、家へ帰つてテレビつけたら、まだ行列やつてんね。長いなあ、西澤さんつかれたやろ」。

戸つ子が、私の肩をたたきながら話してくれたのです。



▲愛きょうをふりまいていても音程は大丈夫なのです



►フラワーロードをクラシックカーでスースイ

この話は、神戸まつりのパレードの長所と短所をよくいに当っていると思います。彼はけつして長すぎると非難しているのではないのです。このパレードは、ぜひ自分のナマの目で見たいと気持ちをおこさせるにじゅうぶんな魅力を持っています。でも途中でしんどくなっているのです。なぜか？

一つは観覧席の問題。人間の忍耐力には限度があります。人の頭越しにつま先立って見物できるのは、せいぜい二時間。

やはりフラワーロードの周囲に棧敷席のようなものを設けるなどして、踊るあほうより断然多い見るあほうの立場を考えるべきではないでしょうか。

いま一つは、パレードの構成です。ご婦人のユカタ行列にはじまつてサンバで終る……毎年ほとんど同じ台本になってしましました。

何がとび出すかわからない。形のない祭りという「神戸まつり」の基本的な姿を、もう一度よびもどしたいものです。

パレードより、東遊園地での若者達によるお祭り広場の方がうんと楽しかったという若者達の声を聞いたとき、昨今のシラケムードの若者達にうんざりし、ぜつたいに若者の考えに迎合しようと思わない私でさえ、その楽しさが何であつたかをよく分析してみる必要を痛感するものです。

でも祭りは、あまり深く考えないのがいいのかもしれないですね。まだ歴史も浅く總てに未知数の多いお祭りなんですか、もつともっと自由に、のびのびとコミュニティの輪を広げるまつりであつてほしいと願います。

かく申す私でさえ、今年はどんな美しいクイーン神戸にお目にかかるかとそのことばかり楽しみに……。

開幕を告げるアナウンスは、いよいよ秒読みに入りました。



VIVA!

'75 KOBE MATURI

★私の神戸まつり

藤本ハルミ
(ファッショントレーナー)

お祭フアツシヨン

秘大公開！

◀いつもファッショナル、藤本さん

▶思い思いの気ままなファッショニ

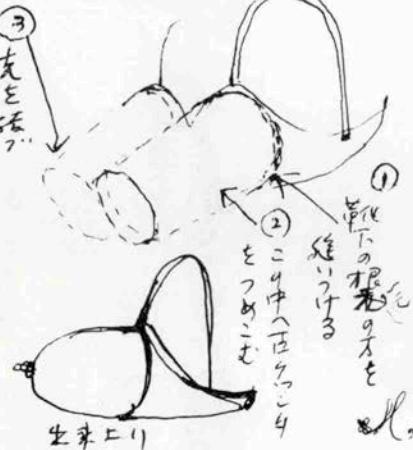


▲今や伝説（？）と化したファイフ・ビューティーズの
図解。本邦初公開！

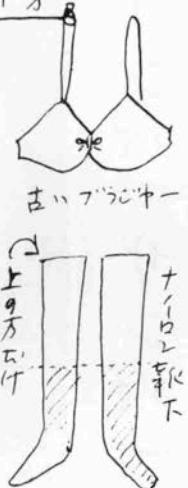
さあ當日には、あまりの美しさに當人が一番シビレて
「私が一番美しい！」と口々に叫んでいた。
第一回の神戸まつりはフランス人形みたいにいこ、と
ウエストから裾まで段々にキャザーを一杯入れたオーガ
ンジーのスカート、ボディはサテンで脛を大きくあけ、
頭には銀色のクラウン、それにオーストリッヂの羽根を

はじめてまつりに出たのは、神戸まつりの生まれた前年、「神戸カーニバル」の時だった。なにしろテレにテレで恥かしさにまるでアフリカのマサイ族みたいに顔中赤や青でくまどりし、特別製の超ボインを作り、「ファイブビューティーズ」と五人が大根足をアブリケしたスカートの中にくついてはいり出場した時は、「あれは絶対男やでえ」など見物人にいわれてヒカンしたものだった。ちょうど万国博の年だったのでインドネシアの美人舞踊家達も参加していた。彼女たちが妙なる音楽とともにまるで天女のように通り過ぎたときは、ガツクリして来年は絶対美女美女で出るぞ。と決心したのだった。

それ以来神戸まつりが近づくと十人位のおまつり好きの一味が集まって、特製のドレスを衣裳屋さんに注文する。出来上ってきたドレスを、各自が持ち帰つてまつりの当日前までの数日間を、モクモクと秘密で飾りつけに打ちこむ。



ウルトラ・ボインの作り方



吉ハララジナ



ナイトランデー



オニコ



オニ神戸マツリ

▲第1回、第3回神戸まつりのときのファッション。

今年はどんなファッションが飛び出すか？
主役はあなた自身なのですぞ。

◀ウルトラ・ボインの作り方。実際に作ってみると分る
が実際に生々しい迫力が出る。さあ、これで神戸中の男
性を悩殺するのだぞ！

ゆらゆらさせて前年とは打ってかわって輝くような美しさで登場、見物人をアツといわせたものだ。
以後、毎年十人以上の出場になるので、各人がサンブルで色選び、「私は赤！」「私はキイロ」と早いもんがちで色の取り合いになる。のんびりしている人はいつも残った地味な色ばかり続くことになつて、ブツブツ文句をいながらあきらめさせられている。

第一回第二回と、長い裾をひくデザインを二年続けてみて、一つの発見があった。なんといってもあの強烈なサンバを踊るのには裾が長いと充分に踊れないのだ。三年目にはツートンカラーで男性はパンタロン、女性はスリムな型にしてドレスを短くした。そのかわりムギワラ帽子を作ってるおじさんにたのみこんで、直径一メートルあろうかという大きなつばの帽子をつくり、花や果物や羽根で飾った。この帽子がナカナカの迫力で、後から若い男の子たちに「その帽子オクレエ！」と、引っぱられたものだ。昨年は足首が充分見える長さのダンスドレスを作つたが、型がドンドン小さくなつていくのが面白い。これは私達がまだ体力があるという証拠で、もつと年をとつたら身うごきのできないくらい豪華版の衣裳をきて、車に乗つてひっぱつてもらうと話している。それもまた楽しいわ。フフフ……。

さて、そこでまつりのパレードに出場する私達はもちらんだが神戸まつりの日には見物に出てくる方も、ふだん一度あんなの着てみたいと思つてもちょっと抵抗があるというような服をこつそり手作りで作つたりして、すごくユニークな格好でまつりを見にいくというのはどうだろう。イースターあけのアスコット競馬場みたいに一年に一度くらいまち「おまつりなんだモン！」と神戸子達がそれぞれスターになつて、「パレードより見物人のファッショント坊が面白いでえ」といわれるようになつたらどんなに楽しいだろう。それこそ本当にファッショント坊がみんなに楽しいだろう。それこそ本当にファッショント坊がみんなに楽しいだろう。

神戸こそそんな期待の持てる街なんだがなあ。



VIVA!

'75 KOBE MATURI

★私の神戸まつり



〔タレント〕

竹村

まこと

〔マイク片手に竹村さん

サンバ・サンバで スタコラサンバサ!

▶ナベ・カマ・ヤカン、何でも楽器になるのだ!



つらつら考えまするに、日本人ぐらゐ祭好きの人種はないのとちがいますか。毎日、日本のどこかで祭がつて、その祭を見て廻つたとしたら何十年もかかるといわれているんですからね。ボクもその日本人。それも特別メデタク製造されている人間だから祭という言葉を聞いただけでソワソワムズムズしてくるんです。

東に祭があると聞けばホイホイ出かけて行き、西に祭があると聞けば8ミリかついてスタコラ出かけて行く。今迄撮つた祭りの記録映画の数も幾千本。(オーバーでなそなにあるかいな)

とにもかくにも8ミリに撮つておくと何度も楽しめるのでメッタヤタラとフィルムを浪費しコダックさんを儲けさせています。これも祭の楽しみ方の一つだと思いますし記録が残るのでええ事やないかと思うんです。(神戸のみなど祭の花電車なんかもう見られん)

ところがボクが8ミリを撮る際の条件があるんです。それは後継者がいなくてその祭りがほろびてしまいそうなという場合。(今迄に消えてしまつた祭も数多くあるんです)

今のうちに撮つておかなアカンと思うんです。それから動きの少ない祭りは駄目。動きのあるカラフルな祭ならジャンジャンフィルムを使います。

ところで、神戸の祭といえば、秋になると「神戸みな」とは街から街へヨイイヤサ、という調子のよい音頭と共にやつてきたみなと祭、およびものの懐古行列、国際パレード、花電車、カラフルな条件にはピッタリでよく8ミリカメラを廻したものです。しかし、テンポがのろくて何かものたりなく思つてました。そんな気持がボクだけやなかつたんですね。市民の中から見るだけの祭はあきてきた。それよりも参加出来る祭をという声が出て来て神戸まつりに変身したんですね。

その第一回目の神戸まつりがものすごく好評で、老いも若きも、浮かれ出し、世界各国の人達も参加し、手に手をとり合つて楽しく唄い踊り、祭としては最高のムー

ド、特にサンバには神戸っ子が熱狂し若いエネルギーが一気に爆発した感じで「これやこれや、祭というもんはこれでないとアカンわ」と思いましたね。



▶迫力いっぱい、本場のサンバ
◀踊って踊って踊り狂うのだ、ビバ、サンバ！

僕は司会者という職業柄、どうしても前夜祭はビジネスオーナーでみんなと一緒にさわぐという訳にはいかないですが、それでもけつこう司会をしながら楽しんでいます。

司会をやっていてうれしいのはクイーン神戸の方がしつかりしたあいさつをされた時、インタビューの時にこやかに答えてくれた時、そんな時、ああ今年のクイーン神戸は豊作やなと思うんです。

それに各区で行なわれる素人の演芸会で本当に楽しそうにやっていられる出演者を見るとき、ほほえましく思います。こんなに祭を楽しめるようになつたのも、神戸まつりになつてからだと思うんですが、どんなにええ企画でも何年か続くとあきつぽい現代っ子にはそろそろ神戸まつりもマンネリ化してきたような気分になつてることちがいますか。

何も外国のようなスマートなパレードなんかの真似をする必要もありませんが、パレードなんかも、ただ変った格好をして歩くだけではなくて神戸っ子のセンスはこんなもんやと自慢出来るユーモアのあるもんにしてほしいと思っています。

不景気不景気いうてる今年ですが、せめて神戸まつりぐらいパレットと景気よくねがいたいもんです。

みんなで趣向をこらして本当に楽しめる神戸まつりにしたいもんですネ。見ているお客様からこんな声がとびだしてくるような、
「ラボー神戸っ子、ラボー神戸まつり！！……と。



VIVA!

'75 KOBE MATURI

★私の神戸まつり



（画家）

田中
徳喜

プラスバンドは まつりの華

はな

▶エー、水兵帽はいかが？ 男らしく見えますよ



去年、ロサンゼルスボノマ市で開かれたロサンゼルスカウンティフェアに私は参加しました。このフェアは毎年九月の中頃から二週間開かれています。会場には、競馬場もあり、モノレール、広くて大きな遊園地があり、いくつもの展示場には農作物や、いろいろの商品が展示、即売されています。その会場のメインストリートを毎日のように地元のハイスクールのプラスバンドがバトンツアラーを先頭に行進し、そのユニホームがおとぎの国に出てくる兵隊のユニホームのように色彩も豊かで明快で、かわいらしく非常に美しく、すばらしいボリュームのある音で堂々といかにも楽しく誇らしげに行進していました。

「神戸まつり」。兵庫区の「はつびいひろば」のまつりに第一回から私は参加し、中央の芸術広場、壁画にも第一回から参加しています。まつりも年々参加者がふえ盛大になり「はつびいひろば」も北区が出来、二つに別れましたが、参加者も老人から若い人、子供と回を重ねることにふえてきており私達まつりをつくっている者にとってはうれしいことです。

中央の芸術広場も東遊園地北側の児童公園での第一回会場から二回、三回と場所を変え、去年新しく市民のい

こいの場として生れ変わった東遊園地の一部が第四回の芸術広場の会場となつて、なつかしい児童公園もなくなり、樹木の数が以前よりぐんとふえ、彫刻、噴水もあり楽しい緑の多い公園になりました。その会場で、毎年白い水兵帽を描き続けて来たように私はもくもくと絵を描きましたが、その水兵帽の絵も、怪獣から仮面ライダー、パンダ等とその年のマンガの主人公を描かされその移り変りように追いつけなくて苦労しました。

このようなことですから私は、パレードをまだ完全に見たことがありませんが、音は聞えています。プラスバンドの行進などは、はつきりとわかります。パレードの先頭を行くプラスバンドの音はどこで聞いても良いものです。

「神戸まつり」のパレードにもこれだけのたくさんの学生のプラスバンドが参加すれば迫力のあるパレードになるだろうと思いつながら毎日見ておりました。

そして今年「はつひいひろば」に参加してもらうプラスバンドを集めるために私達は苦労しております。将来、市内の学生プラスバンドがこのまつりのために練習をつみ重ねて堂々と参加してほしいと願っております。

このフェアには車椅子で会場に来ている人達が多くいるのに驚きました。「神戸まつり」ではまだ私は見たことがありません。これからもそういった人達にもどしどし参加してほしいものです。

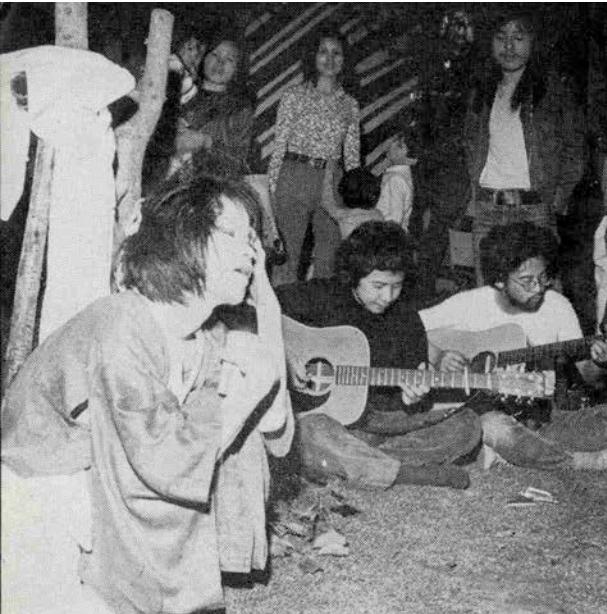
毎日平均して五八八万ぐらいの人々がこのフェアに集まり多い日には十万を越します。

その人達の落とすゴミのことですが、フェアのキャラクターである豚を描いた紙のゴミ箱がたくさん配置されたり、皆、必ずそこへゴミを捨てます。

そして三十分ごとに若い人のグループがそれを收集し新しい箱を置きゴミがゴミ箱からあふれないよう常に常に清掃をしておりますのでゴミが見あたらないのにも驚きました。

そのため、芝生も美しく、緑が会場をやわらかくつるんでおりました。そんな会場で、私はその年の五月に行われた「神戸まつり」の新しくなった東遊園地での芸術広場で多くの人々に踏みつけられた数多くの無残な苗の姿を思い出しました。

米国・日本と所が違つても、どちらのまつりにも植木市が開かれ、緑を求めて同じように人々が集りそれを買って帰るのですが、何故、芸術広場の緑だけがあわれな姿にならなければならないのかと思ひながら、今年も「はつひいひろば」のまつりづくりに参加し、やはり例年通り植木市は開かれます。



►ギターのエレジーにのってよよと泣きくすれます。これ、芸術作品なの



►二日会の連中もアノ手コノ手で売っています。



VIVA!

'75 KOBE MATURI

★私の神戸まつり



〈音楽プロデューサー〉

雨乞いにはじまる 神戸まつり

末広 光夫

◀プロデュースに余念のない末広さん

▶かわいい、かわいい動物たち。フリーバザールにて



「何しろですネ。四万人の観客の前で歌えるんですよ。魅力でしよう！あなたの芸能生活の中では、滅多にないチャンスですぞよ！」と半ば威しにも似た口説き文句でタレント交渉をスタートするのが、神戸まつりの前夜祭的な呼びもの『須磨音楽の森』である。

ところが、相手のマネージャーもさるもの、「四万人を収容する会場というのは野外でしようネ。もしも当日雨が降つたらどうなるんですか。翌日に延期となると、タレントは二日間の拘束になりますな——」この一語で立場はたちまち逆転して、「えー何ぶんにも一般の興業と違いまして、市民のおまつりですから、二日間のスケジュールを押さえるだけの予算までは残念ながら……。でも例年不思議と神戸まつりは雨が降りませんので、多分今年も大丈夫だと思いまして……できることなら何とか」と商売人よろしく揉み手をしながら相手に頼みこむしかない。

五月の気象というのは、専門家の気象台にきくまでもなく、昔から必ず三日周期で雨が降ることになつてゐるのだから、「神戸まつりは雨が降らない」とはいつても信用されないのが当然である。

そうこうするうちに、まつりが近づくと週間予報はもとより毎日の天気図とにらめっこをしながら雨乞いがはじまる。

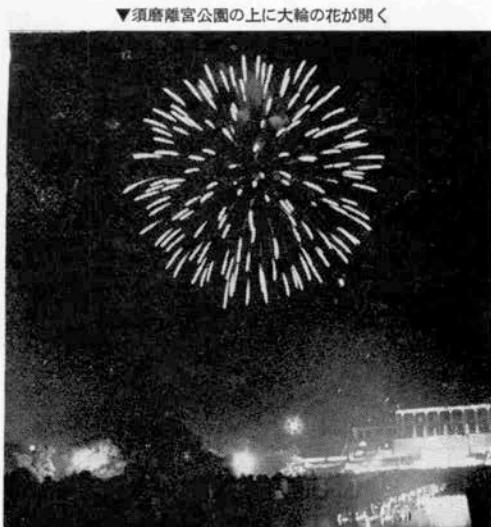
『パレードに雨を降らせないで』といふのは、ミュージカルの歌の文句にはあるけれど、神籠みの言葉には見当らないようだ。そこで、こちらも「どうか雨が降りまますように。ただし、勝手ではございますが、木曜日から金曜日にかけて降らせていただきたいのでござります。



▲ファイアサービスでまつりは幕を閉じる。青年広場にて



▲音と光の祭典。それが、須磨音楽の森なのだ



▼須磨離宮公園の上に大輪の花が聞く

前日の雨に洗われて、須磨離宮公園の緑が一層美しく
映えるあの光景が今年もみられますぞよ。
〈呼びものご案内〉

五月十七日午後五時三十分から八時まで。消防音楽団
のファンファーレで開始。岩崎三郎民謡グループ、小曾
根実、伊藤隆文、今陽子、松田かんな、フラワーショッ
プらの音楽と歌、そして、夜空を彩る花火の数々。
初夏の夜を存分にお楽しみ下さい。

ただいま人間社会におきましても週休二日制が施かれて
おりまして、大体土曜、日曜がお休みですから、そちら
様もできるならば、私どもにあわせてお休み願うのがい
いのではないかとも思いまして……」

こんな勝手な口上がりが雨の神に通じてか、過去四回の神
戸まつりは晴天つきで何よりというわけである。

もちろん、今年も晴れるだろう。いや、晴れることに
なっている！